

夕刊 磐城時報

日十二
印刷所 磐城時報社
発行所 磐城時報社
一部金銀 一月金銀
廣告料 一行十二字五十五銭
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

社會事業助成會で 救済金を募集

平市社會事業助成會、愛國婦人會、平市分會では例年の如く二十日から行はれる全國方面同情週間に際し、押し迫つた年末に際し、喰ふに食なく、寒に衣なき、病魔に悩むる者、方々のため御同好のさいといふ趣旨で、

- △二十三日 檜樋小路、古鍛冶町、研橋町、紺屋町、材木町、長五町、大町、青町、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、新川町、見見町、堤の内
- △二十四日 田町、南白銀町、鍛冶屋町、大工町、立町、鎌田町、下川原、彌生町、仲間町、番匠町、鷹匠町、四間町、柳町、北白銀、

平市出身諸兵士に 南京陥落の祝意

平市長青沼銈太郎氏は平市出身諸兵士に對し、左の如き慰問状を送つた。 謹啓 聖戰第一年の歳末

青沼平市長發送

に際し貴下には益々皇道宣揚の爲め御健闘の事と被存只管感謝罷在候。 敵の抗日策源地たりし首

都南京も我將士の勇猛果敢なる攻撃に依り遂に陥落し其の快報に接したる國民の感謝感激は最高潮に達し全國津々浦々迄も精神的なる旗或は提灯行列を催し皇軍の萬歳を慶祝し併せて武運長久を祈念すると共に世界戦史上類例なき赫々たる戦果を収め燃然たる皇威を中外に宣揚せられたる戦績の

けふ防犯座談會

ピラ數萬枚配布

平署の防犯週間

歳末防犯週間第一日の二十日午後一時から平署では管内銀行會社代表者、各學校長、市長村長役場役員等約百名を同署會議室に招き防犯座談會を開催、歳末防犯について意見の交換を行つた。尚平警察署と刑事協會平支部では左の如きピラ數萬枚を管内に配布した。

お正月を控へ 米價又々騰る

米穀商組合では十八日播るので驚き警戒してゐたところ米十四キロに付十銭の値上げを行つたが、正月を控へ米價の騰貴は天非知らずの有様である。なほ白米は二圓五十銭、平米は三圓五圓を拂つたので學校當局は狼狽し親を呼び出し嚴重取調べたところ意外にも同墓地を荒してゐたことを自供した。前後の事情を知つた同警察署でもその手段の蒙るに及ばず、取調べを進行してゐるが、これら不真見は五六名あつて何れも黨頭を組んで居て盗むと發覺をおそれてこれをすく賣た。

平米穀商組合では十八日播るので驚き警戒してゐたところ米十四キロに付十銭の値上げを行つたが、正月を控へ米價の騰貴は天非知らずの有様である。なほ白米は二圓五十銭、平米は三圓五圓を拂つたので學校當局は狼狽し親を呼び出し嚴重取調べたところ意外にも同墓地を荒してゐたことを自供した。前後の事情を知つた同警察署でもその手段の蒙るに及ばず、取調べを進行してゐるが、これら不真見は五六名あつて何れも黨頭を組んで居て盗むと發覺をおそれてこれをすく賣た。

後一時から開き本月十六日午前五時から秋期檢閲を執を以て契約満期となる磐城行、模範火災による防火演炭礦發電所の給水料並に一習を行ひ一般の防火思想を月期限の来る片倉磐城製煉強化し同十一時から消防組糸會社の料金再契約について本部の落成式を舉行する。て協議するが、發電所の料金は一月百五十圓、片倉製煉は二百七十七圓で兩會社から現状維持の陳情もあり結局従前通り懸まるものを見られてゐる。

愛國運動

平女子青年會では大日本女子青年會の運動を以て愛國運動を發起し、我々が國の航空事業を發展充實を期す一方普及策として目下政府が發給してゐる愛國郵便切手や葉書に一般の通信に利用す。外持に出征兵や傷病兵の慰問通信並に遺族の通信に使用すべく團員に呼びかけてゐる。

四倉校生徒が 共謀して墓地荒し

四倉町本町曹洞宗海嶽寺墓様に鐵材を窃取せしを發見し、破毀されてゐるのを發見し、署では笠原刑事が嚴重に探した。職花澤實有師は監視中、案の歩を進めてゐるうち本町の處境家高木寅之助氏外五河農家の畑から取參の葉や六名の墓所を破毀し前同大根の葉が刈り取られてゐる。

水道料金

平水道委員會は二十日午後小名濱消防組では二十一日

星銀一君の 遺骨凱旋

好間村北好間出身星銀一君の遺骨は二十日午後三時十七分平署で凱旋するが、市内各種團體代表者は驛前で焼香を行つた。好間村では近く村葬を營む。

鹽田伍長等の 町葬執行

小名濱町出身伍長鹽田真吉、宮城縣宮城郡利府村生れ、上等兵、箱崎貢兩君の合同町葬は二十三日午後一時から同町小學校で盛大に執行する。

炭礦景氣に 憧れて家出

宮城縣宮城郡利府村生れ、鹽田町マルエス織造工場職工、安戸巳代治(十七)は話に聞く炭礦景氣に憧れて同僚乃川登(十九)及び工藤要吉(十八)と工場を飛び出し郡内の炭礦に入社してゐる。しつと義兄清藏から二十日平署に捜索方を願ひ出でた

消防檢閲

平水道委員會は二十日午後小名濱消防組では二十一日

小學生が 献金行商

澤渡村小學校尋六佐藤岩子、尋四佐藤孝子、尋三長瀬壽美子さん等は親から五十圓宛を貰ひうけこれを資本に放課後軍用紙金の小旗を立て、野菜、納豆を賣り廻つてゐるので奇特な行爲に部落民感激してゐる。

合 格 者

満州國鞍山滿鐵昭和製鋼所職工採用試験は十九日郡市で執行したが郡内の合格者は左の如くである。 好間金成敬三郎、同給木正八、鹿島箱崎勇壽、好間猪狩金次郎、堤内深谷忠男、好間二宮淳平、鈴木修司、月見町白土松美、紺屋町宮西彌、神谷村長谷川武雄、好間武石利男、同石井辰三郎、内郷菅野尚一、小名濱神谷倉久

夕刊 磐城時報

債券 賣買
金 融
質物一般 多田井商店
平市大工町
電話五九一

魚清自慢のなべ料理

鳥なべ。ちりなべ。よせなべ。ねぎまなべ。かきなべ。はもなべ。あんこなべ。出前も迅速に致します。

魚清食堂

電話六三三番

御得意の御禮に！

パーマネントウェーブ

今や...世界的流行であります。時間の経済と能率増進。時代の要求するパーマネント。今が絶好のチャンス。現状維持では...時代に取残されませう。

御結婚御着付 和洋結髪 オリン美容術 最新美容法を研究し その奥義を 修得致して参りました。

水野化粧院

水野冬子
平市駅前 電話六七八
自宅 電話五二五

日一廿
編輯兼発行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
発行所 磐城時報社
一部金銀 一ヶ月五元
日刊(日曜祝祭日)週日休刊

煉炭 豆炭

薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス

阿部石炭商店

電話三十七番

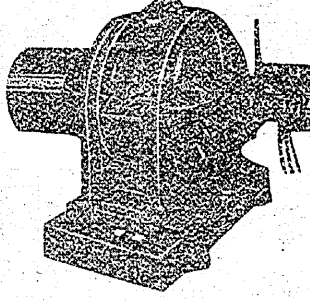
忘年会 新年會

常磐線湯本驛 鐵道指定旅館 小瀧 電話小名濱〇三



モーター 變壓器 修理販賣

平月見町 佐藤鐵工所 (電話三六二)



移轉お知らせ

毎度御負下され深謝致します。弊店儀今回... 平市三丁目日本通り目抜の場所

洋服店 正札堂

電話四三三六番

和洋銅鐵金物問屋 久金屋商店

諸橋久太郎 電話九九番

シモヤケ家傳藥

是までシモヤケは暖かくならねば治らぬものご諦めて居つたのが一日二、三日の御使用でクツれたシモヤケも忘れた様に治ります。

東京市丸井邦賀堂 伊藤石炭店 電話三四九番

味の塩屋

福島縣平市

募集廣告

男女工數名 右至急募集す 委細面談

蓄膿症 根切藥 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あり雖他藥の及ばざる良藥也。七の病症の方は一時も早く服用され快癒されん事を御奨め致します。

水野藥局

電話六九九番

石城電話番號 就いて

一、本社が仙臺通信局の認可の下に昭和七年以來刊行しつゝある「石城電話番號便覽」は勿論來年度に於ても出版致します。

平新報社 山野邊庄吉